



世界を リード する国へ。

自民党は、
生まれ変わる。



自由民主党 総裁候補

た か ゆ き

小林 鷹之

49歳

政策集

党改革

「自民党の近代化」

経済

日本経済を上昇気流へ、
安心と豊かさを
実感する日本経済へ

外交
安全保障

平和と繁栄を実現する
外交・安全保障

地域立国

日本の強みは、地域にあり。
地域の活力なくして
日本の発展なし

教育も
子ども
社会保障

社会の分断なく「希望」と
「安心」を実感できる国へ

憲法改正

皇位継承

世界をリードする国へ ～目指す国づくりへの思い～

国民の皆様が夢と希望を感じられる社会を、世界をリードする日本を創りたい。

真に自律し、他国の動向に右往左往しない日本を創りたい。

世界から信頼され、必要とされる日本を創りたい。

今、私たちは分岐点に立っています。

世界が混とんとする今こそ、わが国が毅然とした国家運営をしなければなりません。

では、その日本は今どうでしょうか。経済力や科学技術力が国際的に低下しています。足元では物価が高騰し、実質賃金が上がらず、暮らしが良くなったという実感が得られない。地方は、人口減少が進み、疲弊しています。

この停滞感を打破し、活力ある社会を取り戻さなければ、日本は世界の中で埋没してしまふ。

これから数年間の私たちの歩みが、数十年後の日本の未来を大きく左右する。

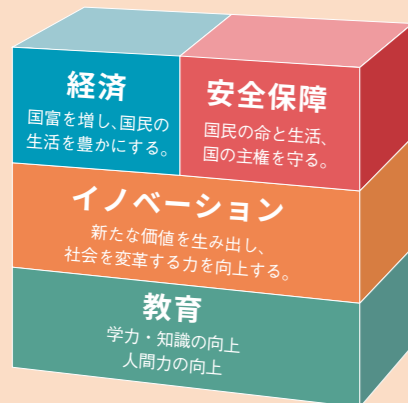
もはや猶予はありません。ビジョンを掲げ、進むしかありません。

そのため、2050年のわが国を見据えた「国家戦略 2050」を策定します。

自民党も、時代に合わなくなった古い慣例を勇気をもって脱ぎ捨てます。



自民党は、生まれ変わる。
日本は、生まれ変わる。
この国を、より高く、より遠くへ。



“国力のマトリクス”

国民の暮らしや地域が良くなっていくには、基盤である「国力」が安定し、強固でなければならない。私が考える「国力」。

それは国家戦略の根幹を成す「**経済**」と「**安全保障**」を車の両輪としてしっかりと回っていること。

「**経済**」と「**安全保障**」という両輪を回すには、「新たな価値を生み出し、経済社会の大きな変化を創出する」**イノベーション**が欠かせない。そして、イノベーションには、その種を見出し、作り上げた技術を社会的価値につなげる人が欠かせない。つまり、**国力を支えるのは「人」**。人間力を培う「**教育**」が国力の源。

「直ちに取り組む3本柱」

01. 生まれ変わる：党改革 ～自民党の近代化～

- ・「**党の近代化**」(人事・財務・運営・法令遵守)について、「**党近代化実行本部(仮称)**」を立ち上げ、次回党大会までに具体化。「国会の近代化」にも取り組む。
- ・**政策活動費は毎年公開又は廃止**。旧文通費は使途公開と残金返納義務付け。
- ・**車座対話の常時開催**や外部チェックで、国民の声や目が届く双方向の党運営にします。

02. 暮らしを明るく：中間層「ど真ん中」の所得向上を実現

- ・「**シン・ニッポン創造計画**」等を通じた**地方への大胆な投資**。地方の雇用創出・所得向上へ。官民の**10年程度の投資計画**を策定し、**国が財源を確保して先行的に投資**。
- ・**年内に重点的な物価高対策パッケージ**を策定。
- ・「もっと働きたい」という希望を叶えるため、「**働き方改革**」の点検・見直し。リスキリングとマッチング機能の強化で「**失業なき労働移動**」を促進。
- ・世帯収入増加に資する「**年収の壁**」見直し。
- ・**賃上げ実現のための価格転嫁の徹底**や**下請法の抜本改正**。
- ・地方や若者も多く従事する**介護・看護・保育従事者の賃上げ**(「**物価を超える処遇改善ルール**」導入)。
- ・**幼児教育・高等教育の無償化範囲の拡大**、民間企業の奨学金制度拡充(税額控除)。
- ・**若年層の保険料負担軽減**を図る「**第3の道**」の具体化。「**社会保障未来会議(仮称)**」立ち上げ。
- ・iDeCo 拡充など真面目に働く**中間層に金融所得増の恩恵が及ぶ施策の展開**。
- ・**食料安全保障**や**農山漁村活性化の予算拡大**、**農業所得の向上**に向け**価格形成の在り方見直し**に注力。

03. 守り抜く：わが国の平和と安全、そして歴史と伝統を

- ・先送りできない**憲法改正**。**可能な限り早期の実現**に最大限の熱量をもって取り組む。
- ・防衛生産基盤や人的基盤の抜本強化、周辺国との防衛装備品協力等を通じた**防衛力の抜本強化**。
- ・**新たな外交戦略「BRIDGE」**を策定。グローバルサウスとの連携強化を通じ、国際秩序を維持する。
- ・わが国初となる「**経済安全保障戦略**」の策定。
- ・新たに情報部局の設立等に取り組み、**情報機能の抜本的向上**を図る。
- ・あらゆる手段を尽くして**拉致問題の一刻も早い解決**。
- ・**国土強靱化の加速**に向け、**被害想定見直し**、**次期中期計画早期策定**、**防災の司令塔機能強化**に取り組む。



I. 党改革 ～「自民党の近代化」～

『自民党は生まれ変わる』 — 国民の声と目が届く自民党に

政治に対する信頼を回復し、「政治は国民のもの」との立党精神に立ち返ります。
「国の舵取りは自民党に任せたい」再びそう思っただけの自民党へと改革します。

『党の近代化』

脱派閥の総裁選を徹底します。その上で旧派閥や世代に囚われない近代的党運営を行います。
ただちに党近代化実行本部(仮称)を立ち上げ、党大会までに具体化を進めます。

- 人事 — 開かれた活力ある、政策本位・実力本位の人事制度を確立します。
- 財務 — 政策活動費の毎年公開又は廃止・外部監査など、政治資金の透明性を高めます。
- 運営 — 車座対話の常時開催や外部チェックで、国民の声や目が届く双方向の党運営にします。
- 法令順守 — 不正には厳正に対処、処分は厳格に運用、違反者人事は厳正に行います。

『国会の近代化』

国会運営を近代化します。国会議員と国家公務員が国民本位の政策立案に注力できるよう、国会改革に向け各党会派の協議をリードします。定期的な党首討論、総理・総裁による国民への発信強化に取り組みます。

II. 経済 ～日本経済を上昇気流へ、安心と豊かさを実感する日本経済へ～

国民の皆様の暮らしが最優先です。物価高を克服し、全国津々浦々に「暮らしがよくなっていく」実感を届けます。賃上げ実現とそのための環境づくりを徹底支援します。

現在のわが国は、働き手不足や原材料難に加え、新たな価値の創出が不十分であるという供給側の構造的課題を克服する必要があります。新たな発想と財政出動を伴う新機軸の産業政策に基づき、大胆かつ積極的・戦略的な投資を行い、わが国経済の供給力を抜本的に強化する、まずこれに着手します。

投資に加えて、所得と消費を拡大させるべく、構造的な賃上げを加速する必要があります。そのため、製品や商品の価値に見合った取引を行う価格転嫁を徹底します。

これらを通じて、日本の成長力の基盤を回復させることで国際収支や社会保障制度等の構造的な改善も目指します。更に、少子高齢化などの課題先進国である日本が、いち早く解決策を提示できれば、それによって世界をリードできます。社会課題の解決に民間や地方の創意工夫を生かす資金の流れを作り、日本経済を活性化させます。

「経済が財政に優先」を基本とします。経済あつての財政であり、力強い経済を作り出すことで税収の増加を図り、財政を改善させます。経済の拡大に水を差さない財政運営が大前提です。



2大プロジェクト

①「シン・ニッポン創造計画」

わが国が強みを持っている、または強みを持たなければならない戦略分野として、半導体、自動車、グリーン、航空・宇宙、海洋、素材、金融、データ産業、スマート農林水産業等を選定します。それらの分野に、予算、税制、規制・制度を総動員し、地方に大胆に投資し、新たな時代の産業クラスターを全国に創ります。

②「シン・デジタル日本」の実現

- デジタルサービス収支を黒字化し、デジタルで稼ぐ国に
- あらゆるサービスをデジタル化し、人口減少でも人手不足で苦勞しない国に
 - AIの開発・実装が世界一進んだ経済社会の実現に向けた「AI先進国」実現プログラムを立ち上げます。
 - データセンター整備など計算資源の抜本拡大を進めます。そのための半導体供給体制を構築します。
 - 量子コンピュータの早期導入のための供給体制や人材育成を進めます。
 - デジタル技術導入を妨げるあらゆる制度を根本から見直します。

中小企業の収益回復の徹底支援

- 賃金上昇を行き渡らせるために、価格転嫁の取組をあらゆる面から強力に支援します。下請け企業への不当なしわ寄せは絶対に許さず、下請法を抜本改正します。
- 人手不足に悩む中小企業等に対して省力化投資を支援します。
- 多様な経営課題を抱える小規模事業者への伴走・経営支援の充実、成長志向の中小企業に対する新たな支援策の創設、事業承継・再編等の支援策の充実、商店街の活性化などに取り組みます。
- 地方や若者も多く従事する介護・看護・保育従事者の賃上げを実現するため、「物価を超える処遇改善ルール」を導入します。
- 物価高への集中的な対策パッケージを今年中に打ち出します。

エネルギー ～大量の電力需要にも対応した安定的で安価な電力供給～

- 安全性の確認された原発の再稼働、更新・新增設に取り組みます。核燃料サイクル政策は堅持します。
- 将来に向けた電力供給量を確保し、電力料金の上昇を抑えます。
- 国産再エネを推進します。ペロブスカイトや洋上風力発電のサプライチェーン強靱化や人材育成に取り組みます。水力発電や地熱発電等の最大限活用を加速します。
- 水素関連技術、小型モジュール炉(SMR)・核融合発電等について、将来の輸出を視野に入れた大胆な実証・開発支援を行います。エネルギー輸入国から輸出国へ。
- 国のエネルギー基本計画を大胆に見直し、今年中に新たな計画をまとめます。

イノベーション ～日本の経済成長の源泉～

- スタートアップ支援の強化
 - スタートアップ育成5カ年計画の加速、セカンダリーマーケットの活性化など金融市場や取引制度の改革、GPIFなどの長期運用資金等からの流れの強化、インパクトスタートアップの支援、に取り組みます。スタートアップや新技術を政府調達も活用して成長させる「日本版COTS」制度を創設します。
- 宇宙産業の成長を推進
 - 宇宙政策に関する司令塔として、内閣府に「宇宙庁(仮称)」を設置します。宇宙戦略基金を1兆円規模に積み増して開発を支援します。
- 創薬産業の競争力強化
 - 官民の連携を強化し、創薬のエコシステムと政府の司令塔機能を強化します。医療・介護分野のヘルスケアスタートアップを大胆に支援します。「ゲノムスジャパン」を早期に構築し、ゲノム医療で世界と伍する創薬産業にします。



Ⅲ. 外交・安全保障 ～平和と繁栄を実現する外交・安全保障～

① 「平和を守る」外交・安全保障

防衛力の強化

- ・「**国家安全保障戦略**」を確実に実行します。わが国の平和と安全を守ります。
- ・反撃能力の保有など、**43兆円の防衛力整備計画**を実行して抑止力を高めます。円安などによって、必要な防衛装備品の調達に悪影響が出ないように対応します。
- ・**力強く持続可能な防衛産業を構築**し、防衛装備品の安定的な調達を確保します。**防衛装備品の海外への移転を加速**します。
- ・手当の充実や職場・生活環境の抜本的改善など**自衛官の処遇を改善**します。
- ・**能動的サイバー防御**を導入するための関連法案を今年中に国会に提出します。担当大臣の設置や、サイバーセキュリティ戦略本部の機能の強化を行います。

平和と繁栄を守る外交

- ・グローバルサウスと先進国との間で価値や利害の対立が芽生える中、**日本がその「架け橋」となる、新たな外交戦略「BRIDGE」を進め、米中ではなく日本にしかできない方法で世界をリード**します。
- ・国際秩序が揺らぐ中、米国との強固な同盟、多くの同志国との連携の強化により、「**自由で開かれたインド太平洋**」を実現します。
- ・宇宙やサイバー、情報保全などを含む**あらゆる分野とレベルで日米同盟を強化**し、抑止力と対処力を高めます。
- ・**国際機関での日本人の活躍の場を拡大**し、国際社会における日本の存在感を強めます。
- ・中国等の「**力による一方的な現状変更**」の試みには断固反対します。

情報機能の抜本的向上

内閣情報調査室を抜本的に強化して、**新たな情報部局を設置**します。また、**対外情報機関の設置を検討**します。

国民保護の実効性向上

国と自治体の連携強化、シェルター整備、在外邦人の保護を含め**実効性を向上させるための制度見直し**を行います。

拉致問題の一刻も早い解決

北朝鮮による「拉致」は許し難い残酷な人権侵害、かつ国家主権の侵害です。被害者家族の高齢化が進む中、時間的制約があり、**一刻の猶予も許されない状況**です。**一日も早い被害者全員の帰国実現のため、これまでの取組にとらわれず、あらゆる手段を尽く**します。

② 国民生活の安定と発展のための経済安全保障

わが国の「戦略的自律性」と「戦略的不可欠性」を高め、**経済面からも国益と安全保障を確保する観点から、わが国初の「経済安全保障戦略」を策定**します。

外国による諜報活動への対策も含めた**技術流出防止措置を確立**します。資源の安定的な確保によるエネルギー安全保障の他、食料安全保障なども強化します。加えて、**有事の経済安全保障を確立**します。

重要技術などの**知的財産(農産品等も含む)の保護・流出防止**を徹底します。

DXや生成AIの進化など、データ駆動型社会の進化に伴い、**データの取扱いに関する「データ法」を整備**します。

国際的なルール作りを主導し、わが国経済の発展に繋がります。また、「**国際標準戦略**」を策定します。



IV. 地域立国 ～日本の強みは、地域にあり。地域の活力なくして日本の発展なし～

① 食料安全保障と農山漁村の活性化

- 農林水産業は地域経済を支える大きな柱。農山漁村で育まれてきた文化や伝統、風習、祭りは地域社会の成り立ちそのもの。一方、世界的な食料生産の不安定化等により、**食料安全保障の確立が喫緊かつ最重要課題**です。再生産可能となる**適正な価格形成を実現し、持続可能な食料システムを構築**します。



- 国民の命と健康を守る食料安全保障を確立**します。食料（飼料用作物等を含む）の安定供給確保と不測時への対応強化、農地の確保と適正・有効利用の促進、農業・農村基盤整備、スマート農林水産業等による生産性と所得の向上を進めます。
- 農山漁村を支える多様な人材の育成**と地域資源を活かした「賑わい」創出、地域を牽引する食品産業関連企業の育成と成長支援、適正管理を通じた水産資源の維持・拡大、漁船漁業の構造改革やマーケットイン型養殖業の展開等による水産業の成長産業化、「多面的機能発揮」の拡充と鳥獣被害対策を進めます。
- 「みどりの食料システム戦略」の展開、木材利用拡大等による森林の循環利用の着実な推進等により、**環境にやさしい持続可能な食料システム戦略を構築**します。
- ニーズに対応した輸出産地形成、戦略的サプライチェーン構築、知的財産の保護と活用により、わが国の**農林水産物・食品のグローバル展開**を推進します。

② 国土強靱化と地域力の創造・最大化

国土強靱化の加速

「災害多発国」日本において、国民の命と暮らしを守るため、南海トラフ地震等の被害想定を見直すとともに、リスク点検作業と事前防災や、公共インフラの修理・更新等を進めるなど、**次期中期計画を早期策定**し、国土強靱化を加速します。**政府における防災対策の司令塔機能強化**を図ります。**消防団も充実強化**します。

能登半島地震からの復旧・復興

復旧を加速するとともに、「能登らしさ」を尊重・発展させる**創造的復興を支援**します。

福島の復興

処理水に係る風評被害対策に断固取り組みます。**着実な廃炉と避難指示解除に向けた取組や生業再生**を図ります。2025年度末で終了する**第2次復興創生期間後も長期的な県内全域への支援**を行えるよう取り組みます。

地域力を最大化するための物流・人流インフラの整備

道路や新幹線、空港、港湾など、**地域の力が最大化されるような物流・人流のインフラを国が責任をもって更新・新設**します。**担い手の持続的確保**のため、品質確保やコスト転嫁、省人化支援、施工技術の革新などを進めます。

観光立国

インバウンドの活力を、食・工芸・アートの購入、文化・地方・自然の体験等に誘い、更に日本経済の振興に活かすとともに、観光負荷対策にも取り組みます。**地方の観光の高付加価値化を支援**します。

離島・半島の振興、過疎対策

条件不利地における移住や起業、就農などのチャレンジを後押しします。**半島振興法を抜本的に改正し、「半島の強靱化」**を図ります。**地域公共交通やガソリンスタンド維持**など移動の自由を守ります。

日本の豊かな自然環境を守る

外国人による水源地や山林などの資源地取得・転売が容易となっている現状を改め、**必要な法律を整備**します。

分散型国づくり

10年間の地方創生の取組を総括しつつ、**地方における大学や企業等の充実・底上げ**、一極集中による脆弱性を回避するための**首都圏が持つ機能のバックアップ体制構築**などにより、「**分散型国づくり**」を進めます。

文化立国の実現

国際的に遜色ない水準まで官民の文化投資を促進します。**文化財の保存・活用、食文化や伝統芸能・伝統産業の継承や革新、クリエイター支援やメディア芸術センター整備**等による**コンテンツ産業振興**など、**文化による地方創生、わが国ならではの価値創造に**繋がります。



V. 教育・こども・社会保障

～社会の分断なく「希望」と「安心」を実感できる国へ～

① 教育・こども ～未来を担う次世代への投資

🦋 教育が国力の「源」

- ・ 幼児教育から生涯学び直しまで一貫通貫の教育・人材育成基盤を構築します。
- ・ 質の高い公教育を再興し、皆が「学ぶ喜び」を感じられる教育改革を行います。
- ・ 経済的に厳しい家庭や多子世帯に対し、**無償化範囲の大幅拡充**など教育費負担を軽減します。民間企業による奨学制度に対する税額控除も拡充します。
- ・ **教員の処遇改善、働き方の見直し、負担の軽減をパッケージで実現**し、教師がもっとこどもたちに向き合える環境を整備します。
- ・ 1人1台GIGA端末も前提に、「個別最適な学び」「協働的な学び」の現場実践の深化を含めた**新・学習指導要領を策定**します。
- ・ こどもたちの生きる力を育む**自然体験機会を抜本的に充実**させます。
- ・ 世界で活躍できる人材育成のため、**完全国費留学制度の創設等による留学の後押し**、近現代史の正しい理解醸成を行います。
- ・ **人間としての「志」「芯」をつくる教育(リベラルアーツ)**を充実します。
- ・ 科学の発展基盤となる基礎研究の再興など、**高等教育を抜本的に強化**します。
- ・ **特別支援教育充実・障害児支援**、教育と福祉の連携を促進します。
- ・ **いじめからこども達を守り抜きます。不登校に対する支援も充実**させます。

🦋 「こどもまんなか」・子育て世代応援

子育て世代の**安定雇用、所得向上、働きやすさ向上**を徹底的に応援します。**経済的な負担軽減**や相談・育児等支援、**預け先の充実**による物理的な負担軽減等を行います。国・自治体・企業・地域・医療・福祉が**総力を挙げて、少子化が不可逆的に進む2030年代前半までに少子化傾向を反転**させます。

② 「働く喜び」の再生

🦋 「働き方改革」の点検・見直し ～「もっと働きたい」という希望を叶える

労使合意、本人の希望、事業者の健康管理措置、賃金増加等を前提に、人手不足が深刻な業界、技術修得に時間を要する業界やスタートアップなどにおいて、時間外労働規制上限を選択的に緩和できる仕組みなどを**直ちに検討**します。リスキリングとマッチング機能の強化で**「失業なき労働移動」**を促進します。

🦋 就職氷河期世代の支援

支援プログラム「第2ステージ」の最終年度が令和6年度であることから、政府、地方、民間がチームとなって**分野横断で次なる対策を策定**します。



🦋 「年収の壁」見直し

給料を上げて、いわゆる**「130万円の壁」**に伴う就業調整によって、人手不足が進み、本人の手取り額は変わらない事態を解消し、**人材確保と世帯収入増加**を図ります。

🦋 女性活躍の推進

能力や経験に応じた適正な所得が得られるよう女性活躍の取組を更に進めます。**女性特有の健康課題**(月経随伴症、婦人科がん、更年期症状等)への**対応を強化**します。**令和7年度末期限の女性活躍推進法の次の法整備に向けて検討**します。カスハラ対策も進めます。



③ 新たな時代の社会保障

🦋 **「社会保障未来会議(仮称)」を立ち上げ、高齢化が進む中であっても若年層の保険料負担軽減を図る「第3の道」の具体化**を図ります。同会議では、①**データに基づく人的物的資源の適正配分**、②**ロボット、AI、アプリ等による健康管理**、③**健診・予防・リハビリ・フレイル対策・軽度認知症対策などの「健康づくり」とその行動や成果へのインセンティブ付与**、④**DXによる効果的・効率的なサービスの提供を通じた費用の抑制に資する取組**、などを通じた**医療・介護需要の低減を進めます**。あらゆるアイデアをすべて俎上に載せ、**国民の皆様とともに広く社会保障制度を考え、方向性を共有**して、新たな時代の社会保障制度を作り上げます。

🦋 家族等にとって大きな不安の源となる**現役世代の怪我や疾病**に対し**サポート体制を築き、医療サービスの面からも現役世代を支えます**。また、DXやイノベーションを通じ、**健康医療分野でも世界をリード**します。

🦋 **医師の地域偏在と診療科偏在を是正**し医療へのアクセスを確保していきます。また、公的サービスの安定供給を前提に、**医療法人等の経営改革**も進めます。**医療・介護・障害福祉等の人材確保**を進めます。

🦋 地域特性に応じた**地域包括ケア体制を確立**し、住み慣れた場所で生き生きと暮らせる社会の実現を目指します。

🦋 **あらゆるがん対策や研究支援を分野横断で進めると共に**、腎疾患、アレルギー疾患等の重症化予防、移植手術の利用推進等に努めます。

🦋 **2025年東京デフリンピック初開催**をはじめ、スポーツやアート、多様な就労機会など障害者の方々の挑戦を応援し、包摂的な社会を築きます。



VI. 憲法改正

来年は立党 70 年の節目。新しい時代のわが国のカタチを国民の皆様と一緒に見定めていかなければなりません。憲法改正は先送りできない最重要課題です。衆議院憲法審査会の幹事を長年務め、全ての経緯を理解しています。だからこそ、人一倍、思いは強い。政治の要諦が「危機管理」であることを考えれば、緊急事態条項新設と自衛隊明記は喫緊の課題です。具体的な改正条文案を提出し、憲法改正を可能な限り早期に実現します。最大限の熱量を持って取り組みます。

VII. 皇位継承

126 代にわたる歴代の天皇の皇統は先人たちが叡智を傾け、様々な努力を払って維持してきました。まさにわが国の根幹、国柄そのものです。男系男子の皇位継承を維持すべきです。私たちもその努力に倣って、他国に類のない皇室の長い伝統を後世につないでいく責務があります。安定的な皇位継承や皇族数の確保については、静謐な環境の中で、各党各会派が誠意をもって協議していくものであり、これを政争の具とすることや、国論を二分するようなことは決してあってはなりません。

自民党は、
生まれ変わる。

PROFILE

昭和 49 年 4 人家族のサラリーマン家庭に生まれる
平成 5 年 私立開成高等学校卒業(中高はバスケット部)
平成 11 年 東京大学法学部卒業(ボート部主将)・大蔵省入省
平成 15 年 ハーバード大学ケネディ行政大学院修了

平成 19 年 在アメリカ合衆国日本国大使館書記官
平成 24 年 第 46 回衆議院議員総選挙 初当選 (現在 4 期)
平成 28 年 防衛大臣政務官
令和 3 年 経済安全保障担当大臣 (初代)
内閣府特命担当大臣

小林鷹之
総裁選特設 WEB サイトは
こちら▶▶▶



YouTube
小林鷹之チャンネルは
こちら▶▶▶



ご支援のお願い

自民党総裁選に挑戦する小林鷹之を支えるには、
皆さん一人ひとりのお力が必要です。

